

令和5年度 補助金等ヒアリングシート

資料3

基本情報			
番号		課・係名	
補助金等の名称			
交付要綱等の名称			
	終了年限の有無 (無・有 (令和 年度廃止予定))		
要綱に規定する 交付対象			
根拠となる 市の計画等名			
補助制度内容 (下部組織等の 配分も明記)	1. 国補助 2. 県補助 3. 単独 4. 市単独上乗せ		

団体に補助 している場合記入 ⇒ ※個人に補助して いる場合は不要	団体名 (複数ある場合、団体ごとに別葉とする。)	設立年月日	構成人数
	市から補助を受けていない市内類似団体の有無 (有・無)		

決算の状況		※団体への補助は上記の団体ごとに、個人への補助は合計値を記入してください。			
		令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額	
歳入	市補助金				
	内訳	国庫補助金			
		県補助金			
		その他			
		一般財源			
	会費				
	事業収入				
	その他				
	合計				
歳出	人件費				
	事務費				
	事業費				
	その他				
	合計				
翌年度繰越金					

近隣市の状況

※補助を行っていない場合は、「なし」と記入してください。

	補助率（定額補助の場合はその額）	補助上限額
成田市		
佐倉市		
四街道市		
八街市		
富里市		
白井市		

担当課としての該当の補助事業への評価

↓該当するものに○

経費的な観点	会計処理及び使途が適切である。	
	【団体補助のみ回答】 決算において繰越金・余剰金が補助金等額を超えていない。	
	他市の同種、同類の補助金等と比較して補助率や金額が突出していない。	
	形式的、習慣的な補助ではなく、補助対象事業の内容等が明確であり、補助金等の使途が曖昧ではない。	
形態的な観点	同一目的、類似事業がなく、整理統合することが適切ではない。	
	補助制度以外の方式に切り替えることが困難なもの。	
	市の直接経費として計上することが適切ではない。	
団体運営費	【団体補助のみ回答】 団体等が事業効果の向上に努力している。	
	【団体補助のみ回答】 交際費、慶弔費、懇親会等の飲食代に対して交付していない。	
	【団体補助のみ回答】 直接事業に係わらない視察旅行(慰労的)に対して交付していない。	
	【団体補助のみ回答】 団体経費の大半が運営費ではない。	
	【団体補助のみ回答】 決算額に対して会議費等の割合が高くない。	
	【団体補助のみ回答】 会費を徴収している等、自主財源の確保に努めている。	
	【団体補助のみ回答】 自主運営に移行する努力を行っている。	

補助の状況 ※補助金等について、できるだけ具体的に記入してください。

分類	質問事項
目的 必要性	①補助事業の目的について記入してください。
必要性	②令和5年度の予算計上の積算根拠について記入してください。また、補助率が2分の1を超える場合は必要な理由を記入してください。
必要性	③過去4年間の決算額と補助対象の件数の合計数を記入してください。 【令和4年度】〇〇円 〇〇件、【令和3年度】〇〇円 〇〇件、 【令和2年度】〇〇円 〇〇件、【令和元年度】〇〇円 〇〇件
公益性	④市としてどの分野で公益性があるか選択してください。また、できるだけ具体的に、受益者が特定の者に偏らず、広く市民にいきわたっている点を記入してください。 公益性のある分野（プルダウン）
公益性	⑤補助事業により達成できている効果をできるだけ詳細に記入してください。（市の計画に基づく場合は、関連させて記入してください。数値化できるものは数値化してください。）
将来性	⑥今後の補助事業についてより効果を高める（行政事務の効率化、公益性の向上などの観点からでも）ために検討していることがあれば記入してください。
将来性	⑦【交付対象が1件の場合記入】事業を委託にできるか記入してください。委託可能な場合は、必要な検討事項。委託不可の場合は理由を記入してください。
将来性	⑧【平成30年度の補助金等評価委員会の対象の場合記入】前回の評価委員会の判定を受けてから、見直しや改善をした点を記入してください。
その他	⑨現在の補助事業について課題があれば記入してください。
今後の方向性	1. 拡大して継続 2. 現状維持で継続 3. 縮小して継続 4. 整理統合 5. 廃止
方向性について の理由	